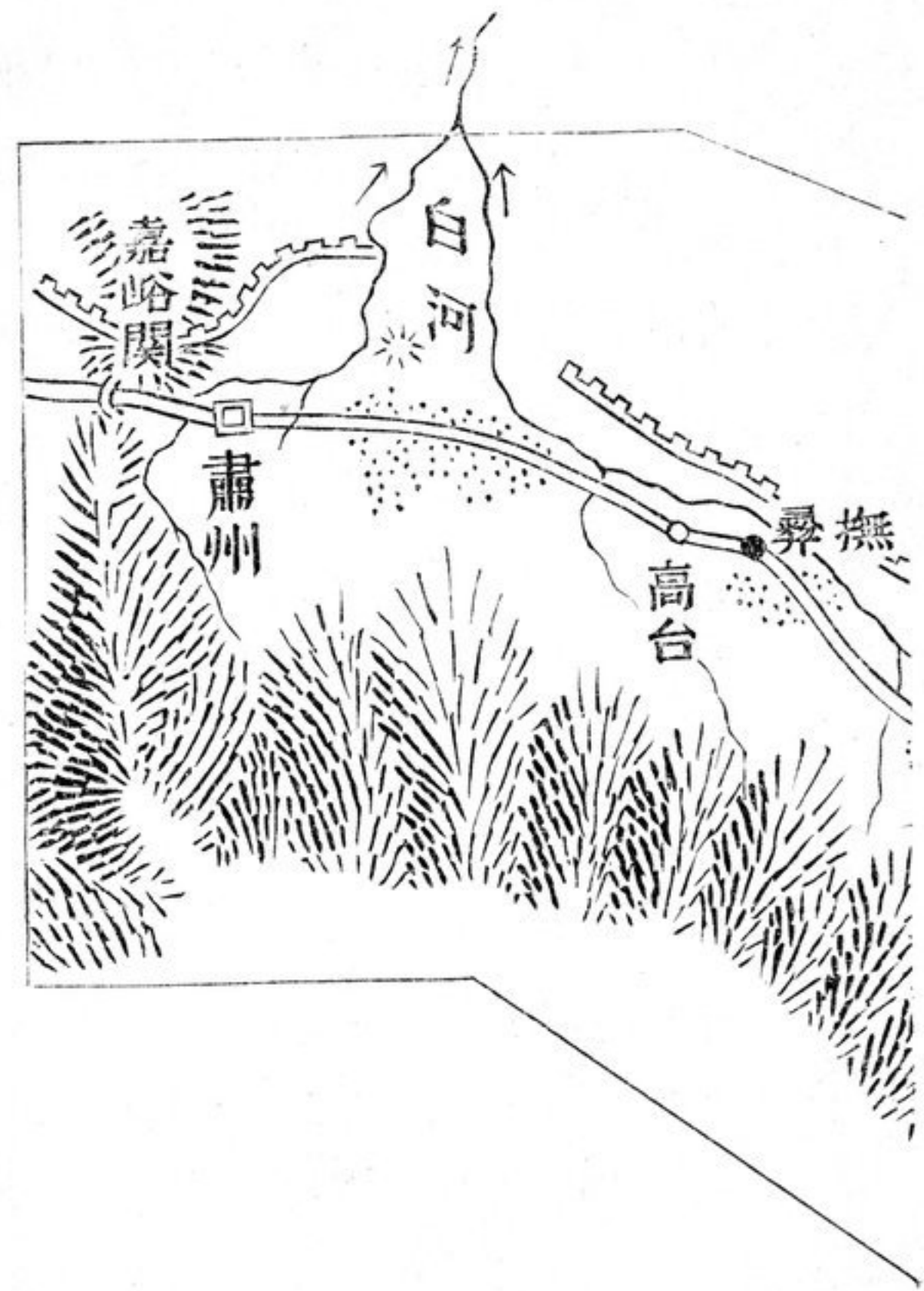


通遠橋

田 溪中の鹽



るの豫定なればなり。上井偏、白石頭、二十

里堡を經、黎明一山頂に達し、其れより下坂、

餘家灣、小滂池、樹崖塘を過き、南に琵琶寨子

を望みつゝ、甘鴨嘴に入る。附近、馬匹を放

養する有り。通遠橋は山中稀に見る堅固

の木橋にて、橋畔に查房を設く。此の溪水

は琵琶庄南方の山麓に發し、北流、哈家灣の

北側を通じ、次で一直西に流るゝも、平時は水を湛へず。哈家灣は多く鹽を産す。

聞く一年の産出高七八萬石と。宜なり溪中鹽田の存在するを。齊家舗を經て鹹

水河を渡れば、即ち鹹水河(名村)にて、此地の水は苦鹹飲むべからず。更に張家舗、魏家

庄を過ぎ、再び鹹水河を越え、觀音寺、泉溝嶺(海拔約五千四百尺)徐家堡を通過して、午後五時

五十分紅城堡に投ず。

地形は朱家井より長隘地を北(偏)上すれば、泉溝嶺に達す。此間左右の山は、比高

數十米突に過ぎずして、無數の小谷を成形す。山は赤土より成り、處々崩壞、絶壁數